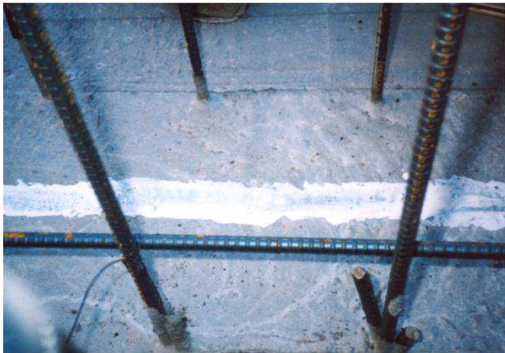


クニシールAB-2505施工要領書

コンクリート打継水平部・コンクリート打継垂直部

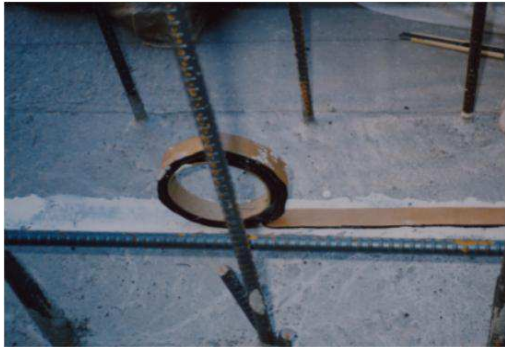


- ①設置部分の水分・ゴミ・油分等の除去を行ってください。

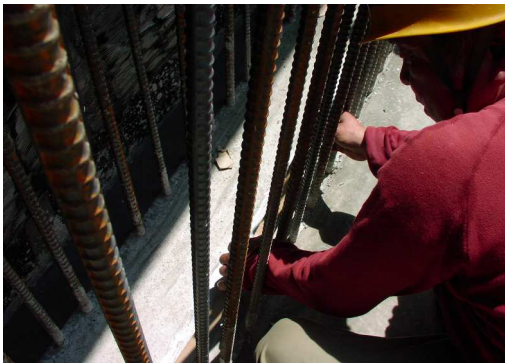


- ②表面が乾燥している状態で、コンクリート設置部に『クニシールボンド』を刷毛で適量塗布します。

適量＝刷毛でひと塗り（メートルあたり約6g）

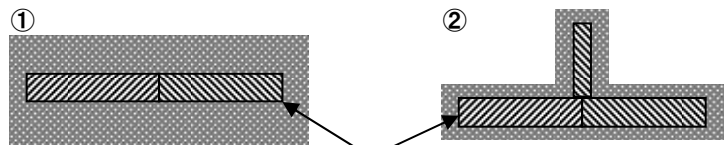


- ③適度なオープンタイムをとり半透明になってからクニシールAB-2505をなるべく中央に隙間のないように設置します。その際かぶり厚を30mm以上確保できる箇所へ御願います。

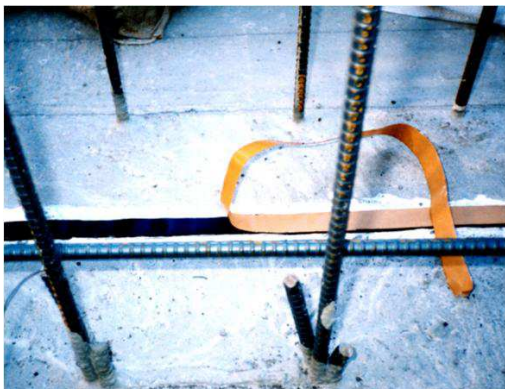


- ④接合は突き合わせて、剥離紙付きのまま上から押し付けながら手圧で圧着させてください。切断もハサミ等を用いれば簡単です。

接合部を上から見た参考例



クニシールAB-2505



- ⑤十分な接着力が出た後に、剥離紙をはがしてください。

スリーブ管まわり



①管の設置表面部の水分・異物・油・サビ等の除去を十分に行ってください。



②クニシール AB-2505 の剥離紙側を管に当てながら必要寸法を測り、カッター・ハサミ等を用い切断する。(ラップ 100mm 分を考慮してください)。

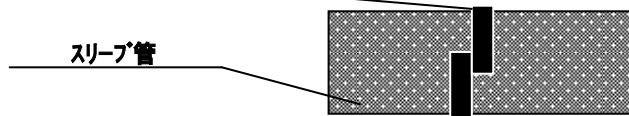


③剥離紙をはがしながら、はがした側を管に巻き付ける。施工位置はかぶり厚を 30mm 以上確保できる箇所へ御願います。



④末端部は間隙が生じないように注意しながら、並行に 100mm ラップさせます。

クニシール AB-2505



⑤全体を手圧で十分に圧着させてください。散水等によって脱落が懸念される場合には結束線で補強を行ってください。

注意事項

- 設置面が乾いている状態で施工してください。
- 確実に固定されていることを確認してから、二次コンクリート打設を行ってください。
- 施工の際、形状が変化しても構いませんので、しっかりと圧着して下さい。
- クニシールボンドの塗布量が多すぎるとクニシールがすべり落ちる事があるので、その場合は接着力が発現するまで、仮ドメ固定して下さい。
- 保管は水濡れのないよう冷暗所をお願いします。